

審査基準書

選定委員による採点

審査項目	審査基準	合計配点
1 委託業務内容		
講座内容	ターゲット層をとらえた研修内容となっており、学習テーマが適切か。	80
カリキュラム	効果的な講座形式、期間、時間、回数となっているか。	
講師選定	業務の趣旨に沿った適切な講師が選定されているか。	
学習内容	県内企業のDX事例の紹介と補助金等の制度の説明が講座内容に含まれており、その内容が適切か。	
学習成果	一定の習熟度を担保するための学びの成果が見える取組が実施されるか。	
研修後	各階層の受講生が研修修了後に学びを継続するための指針が提案されているか。	
周知広報	多くの県内事業者にも周知できるような、適切な広報手段がとられているか。	
2 本事業全体のマネジメント		
業務体制	業務実施体制は十分か。	15
スケジュール	求めている成果を実現するための効果的なスケジュールとなっているか。	
積算	経費は、経済的な積算となっているか。（※以下の方法で計算し、採点する。） ※＝5×最も低い見積額÷審査対象者の見積額×補正係数	
3 独自提案		
独自提案	独自提案内容の付加的評価	5
合計		100

【審査方法】

- (1) 委員長及び委員は、各項目について審査を行い、採点する。
- (2) 全ての点数を集計する。
- (3) 集計の結果、合計点数が最も高い参加者を委託業者として決定する。
なお、点数が同点の場合は、以下の優先順位に従い決定する。
 - ① 最高点を付けた委員が多いもの。
 - ② 審査員による協議
- (4) 合計点数が最低基準点である240点（満点400点×6割）以上になった参加者がいなかったときは、受託候補者を決定しない。
- (5) 参加者が1者だけの場合、合計点数が最低基準点である240点（満点400点×6割）以上になったとき、その参加者を受託候補者として決定する。

【評価基準（5段階）】※下記を基準に係数を乗じた点数とする。

段階	5	4	3	2	1
評価	標準より非常に優れた提案	標準より優れた提案	標準的な提案	標準よりやや劣る提案	標準より劣る提案